

選者：はんにゃ、金田哲さん（芸人、渥美半島元気大使）

◆『運の方程式』、『運を支配する』の二冊がおすすめ。

いつの時代も、どの職業でも、運のいい人と運の悪い人がいる。なぜか？そもそも“運”とは何か？自分は運がいいのでこの本を手に取りました。

1. 『ハマトンの知的生活のすすめ』 P. G. ハマトン・著 ディスカヴァー・トゥエンティワン 2018
2. 『時間術大全』 ジェイク・ナップ・著 ジョン・ゼラツキー・著 ダイヤモンド社 2019
3. 『論語と算盤』 渋沢栄一・著 筑摩書房 2010
4. 『燃えよ剣（上・下）』 司馬遼太郎・著 新潮社 2007
5. 『影法師』 百田尚樹・著 講談社 2012
6. 『自分の中に毒を持って』 岡本太郎・著 青春出版社 2002
7. 『運を支配する』 桜井章一・著 藤田晋・著 幻冬舎 2015 ★
8. 『生の短さについて』 セネカ・著 岩波書店 1980 ★
9. 『竜馬がゆく（全8巻）』 司馬遼太郎・著 文藝春秋 1998
10. 『運命を拓く×心を磨く中村天風』 松本幸夫・著 2022
11. 『宇宙兄弟』 小山宙哉・著 講談社 2008
12. 『キングダム』 原泰久・著 集英社 2006
13. 『ゴールデンカムイ』 野田サトル・著 集英社 2015
14. 『One piece』 尾田栄一郎・著 集英社 1997
15. 『運の方程式』 鈴木祐・著 アスコム 2023



選者：金原瑞人さん（大学教授・翻訳家）

テーマ 再生・ふしぎ文学 2023

◆田原市図書館は、ふしぎ文学半島プロジェクトとして、2012年より毎年、幻想・怪談文学に詳しい翻訳家の金原瑞人氏とアンソロジスト東雅夫氏のご協力により、作品の収集をしています。今回は、コロナ禍が少し落ち着いたということで「再生」をテーマにしたもの、及びこの2年間に読んだ秀逸なものを選定していただきました。

1. 『フランケンシュタイン』 メアリー・シェリー・著 新潮社 2015
2. 『どろろ』 手塚治虫・著 秋田書店 1994
3. 『ペット・セマタリー（上・下）』 スティーヴン キング・著 文藝春秋 1989
4. 『小さな手』 金原瑞人・編訳 佐竹美保・絵 岩波書店 2022
5. 『ミッキー7』 エドワード・アシュトン・著 早川書房 2023

6. 『薔薇色の脚 中川多理作品集』 中川多理・人形、写真 ス튜디오・パラボリカ 2023
7. 『ポエトリー・ドッグス』 齊藤倫・著 講談社 2022
8. 『イノチ ノ ウチガワ』 ヤン・パウル・スクッテン・文 アリー・ファン・ト・リート・写真 実業之日本社 2022
9. 『ペピーク・ストジェハの大冒険』 パヴェル・チェフ・著 サウザンブックス社 2023
10. 『アー・ユー・リスニング』 ティリー・ウォルデン・作 2023

選者：東雅夫さん（アンソロジスト、文芸評論家）

テーマ 再生・ふしぎ文学 2023

◆田原市図書館は、ふしぎ文学半島プロジェクトとして、2012年より毎年、幻想・怪談文学に詳しい翻訳家の金原瑞人氏とアンソロジスト東雅夫氏のご協力により、作品の収集をしています。今回は、コロナ禍が少し落ち着いたということで「再生」をテーマにしたもの、及びこの2年間に読んだ秀逸なものを選定していただきました。

1. 『仙境異聞 勝五郎再生記聞』 平田篤胤・著 岩波書店 2000
2. 『のんのんばあとオレ』 水木しげる・著 筑摩書房 1990
3. 『怪談』 ラフカディオ・ハーン・作 岩波書店 2010
4. 『眼球綺譚』 綾辻行人・著 角川書店 2009
5. 『盆の国』 スケラッコ・著 リイド社 2016
6. 吉祥院本『稲生物怪録』 杉本好伸・著 三弥井書店 2022
7. 『岡本綺堂 怪談文芸名作集』 岡本綺堂・著 双葉社 2022
8. 『日本鬼文学名作選』 東雅夫・編 東京創元社 2022
9. 『アナベル・レイ』 小池真理子・著 KADOKAWA 2022
10. 『陽だまりの果て』 大濱普美子・著 国書刊行会 2022

選者：愛知県立成章高等学校

テーマ 緑・赤・黄・青の本

◆私たちのテーマは「緑・赤・黄・青の本」です。これは成章高校がある田原市の特産品であるキャベツやいちご、トマト、田原牛、豚肉、菜の花、電照菊、伊良湖岬などをイメージした色を表しています。選ばれた本は、これらの色がカバーやタイトルに使われていたり、内容が関係したりしているものになっています。ぜひ、この本棚の本を手にとって田原市の豊かな自然や穏やかな気風を感じてみてください。

1. 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』 ブレイディみかこ・著 新潮社 2019
2. 『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー2』 ブレイディみかこ・著 新潮社 2021
3. 『キャベツ』 石井睦美・著 講談社 2007
4. 『そして、バトンは渡された』 瀬尾まいこ・著 文藝春秋 2018

5. 『心霊探偵八雲 赤い瞳は知っている』 神永学・著 文芸社 2004
6. 『思い出が消えないうちに』 川口俊和・著 サンマーク出版 2018
7. 『島はぼくらと』 辻村深月・著 講談社 2013
8. 『青くて痛くて脆い』 住野よる・著 KADOKAWA 2018
9. 『火花』 又吉直樹・著 文藝春秋 2015
10. 『恋に焦がれたブルー』 宇山佳佑・著 集英社 2021
11. 『今日のハチミツ、あしたの私』 寺地はるな・著 角川春樹事務所 2019
12. 『カラフル』 森絵都・著 講談社 2011
13. 『りんごかもしれない』 ヨシタケシンスケ・作 ブロンズ新社 2013
14. 『ノルウェイの森 上』 村上春樹・著 講談社 1987
15. 『風は山から吹いている』 額賀滯・著 二見書房 2021

選者：愛知県立渥美農業高等学校

テーマ わくわく♪渥農 Life

◆渥美農業高校の4つの学科（農業科、施設園芸科、食品科学科、生活科学科）や産業部が頑張っていることをピックアップしました。渥農には、まだまだ、この本棚には収まりきれない魅力もたくさんあります。まずはこの本棚を見て、興味をもった本があれば、ぜひ手に取ってみてください。そして、もっと知りたくなったら、渥美農業高校へ！

これからも、地域に愛される学校として頑張っていきます。引き続き応援よろしくお願いします！

1. 『めざせ、和牛日本一！』 堀米薫・著 くもん出版 2018
2. 『肉牛の絵本』 上田孝道・へん 農山漁村文化協会 2005
3. 『図解よくわかるスマート農業』 三輪泰史・編著 日本総合研究所研究員・著 日刊工業新聞社 2020
4. 『スマート農業のすすめ』 渡邊智之・著 文藝春秋 2018
5. 『青パイアのレシピ』 +Pプロジェクト・著 池田書店 2022
6. 『世界一やさしい！微生物図鑑』 鈴木智順・監修 新星出版社 2020
7. 『小池芳子の手づくり食品加工コツのコツ1』 小池芳子・著 農山漁村文化協会 2006
8. 『小池芳子の手づくり食品加工コツのコツ2』 小池芳子・著 農山漁村文化協会 2006
9. 『小池芳子の手づくり食品加工コツのコツ3』 小池芳子・著 農山漁村文化協会 2006
10. 『大人かわいい飾り切り』 ほりえさちこ・著 主婦の友社 2021
11. 『古着で作るぬいぐるみ』 金森美也子・著 産業編集センター 2022
12. 『第21回姉妹校派遣研修 第14回姉妹校受け入れ研修報告書』 愛知県立渥美農業高等学校国際交流委員会・編 愛知県立渥美農業高等学校同窓会・PTA国際交流実行委員会 2019
13. 『カクメロ新聞記事集』 愛知県立渥美農業高等学校生活科学科3年知的財産グループ・編 愛知県立渥美農業高等学校 2011
14. 『「農」の付加価値を高める六次産業化の実践』 高橋信正・編著 筑波書房 2013

選者：愛知県立福江高等学校

テーマ 青春マンガ

◆普段は本を読まない人にも手に取ってもらいやすいと思ってこのテーマに決めました。図書係でそれぞれ好きな青春マンガを選んだら、恋愛、スポーツ、音楽など色々なジャンルのマンガがそろいました。青春マンガは、やったことのないスポーツの話でも登場人物と一緒に熱い気持ちになったり、恋愛をしていない人でもキュンとしたり、自分と違う世界の話でも共感して楽しむことができます。ぜひ手に取ってみてください！

1. 『ハイキュー!!』 古舘春一・著 集英社 2012
2. 『青春ブタ野郎はバニーガール先輩の夢を見ない』 鴨志田一・原作 七宮つぐ実・作画 KADOKAWA 2016
3. 『ひよ恋』 雪丸もえ・著 集英社 2010★
4. 『思い、思われ、ふり、ふられ』 咲坂伊緒・著 集英社 2015
5. 『からかい上手の高木さん』 山本崇一朗・著 小学館 2014
6. 『アオのハコ』 三浦糰・著 集英社 2021
7. 『五等分の花嫁』 春場ねぎ・著 講談社 2017
8. 『SLAM DUNK』 井上雄彦・著 集英社 2001
9. 『ちはやふる』 末次由紀・著 講談社 2008
10. 『BLUE GIANT』 石塚真一・著 小学館 2013
11. 『銀の匙』 荒川弘・著 小学館 2011
12. 『君の大声を聞いたことがない』 くれよんカンパニー・著 小学館 2019
13. 『DEATH NOTE』 小畑健・著 大場つぐみ・原作 集英社 2004
14. 『斉木楠雄のΨ難』 麻生周一・著 集英社 2012
15. 『僕らはみんな河合荘』 宮原るり・著 少年画報社 2011
16. 『宇宙兄弟』 小山宙哉・著 講談社 2008
17. 『弱虫ペダル』 渡辺航・著 秋田書店 2008
18. 『かぐや様は告らせたい』 赤坂アカ・著 集英社 2016
19. 『キングダム』 原泰久・著 集英社 2006
20. 『3月のライオン』 羽海野チカ・著 白泉社 2008



選者：トヨタ自動車陸上長距離部

テーマ 心の襷（たすき）本棚

◆私たちトヨタ自動車陸上長距離部は駅伝日本一、そしてオリンピックをはじめとした世界大会への日本代表輩出を目指して日々練習に取り組んでいます。勝つためには「心」の強さが大切です。この本棚には、監督と選手たちそれぞれに影響を与えた、心の強さの源である本が揃っています。ぜひ手に取って、読んでみてください！

- ・熊本 剛監督 『雑草のごとく』 谷口浩美・著 出版芸術社 1992
- ・大石 港与さん 『書斎の鍵』 喜多川泰・著 現代書林 2015
- ・田中 秀幸さん 『不動心』 松井秀喜・著 新潮社 2007
- ・松本 稜さん 『ホームレス中学生』 田村裕・著 ワニブックス 2007
- ・服部 勇馬さん 『人生を変えるサウナ術 なぜ、一流の経営者はサウナに行くのか？』 本田直之・著 松尾大・著 KADOKAWA 2019
- ・西山 雄介さん 『はらぺこあおむし』 エリック＝カール・さく 偕成社 1997
- ・丸山 竜也さん 『変な絵』 雨穴・著 双葉社 2022
- ・野中 優志さん 『新・魔法のコンパス』 西野亮廣・著 KADOKAWA 2019
- ・安井 雄一さん 『最先端研究で導きだされた「考えすぎない」人の考え方』 堀田秀吾・著 サンクチュアリ出版 2020
- ・畔上 和弥さん 『ハングリーな組織だけが成功を生む』 沢木敬介・著 ぴあ 2017
- ・山藤 篤司さん 『決戦前のランニングノート』 大迫傑・著 文藝春秋 2021
- ・太田 智樹さん 『ドアD』 山田悠介・著 幻冬舎 2007
- ・佐藤 敏也さん 『こころ』 夏目漱石・著 KADOKAWA 2004
- ・西田 壮志さん 『走って、悩んで、見つけたこと。』 大迫傑・著 文藝春秋 2019
- ・西山 和弥さん 『心を整える』 長谷部誠・著 幻冬舎 2011
- ・内田 隼太さん 『殺人出産』 村田沙耶香・著 講談社 2014
- ・田澤 廉さん 『必ずできる、もっとできる。』 大八木弘明・著 青春出版社 2023
- ・野村 優作さん 『スイッチを押すとき』 山田悠介・著 KADOKAWA 2008
- ・三山 翔太さん 『風が強く吹いている』 三浦しをん・著 新潮社 2009



選者：小川浩康さん（農家、渥美半島とまtrand）

テーマ 楽しく学ぶ

◆仕事で新しいスキルを身につけたいと思っても仕事終わってからなかなか勉強する気になれない。。。文字ばかりで眠くなってしまふ。そんなときにマンガで勉強できたら楽しくないですか？この5冊はマーケティングの考え方がマンガで描かれているため読みやすく、ストーリー仕立てになっているのでイメージをつかみやすいです。

会社員だけでなく、学生のうちから読んでおくと役立つかも♪

1. 『マンガでわかる！安売りするな！価値を売れ！』 藤村正宏・著 実業之日本社 2016
2. 『100円のコーラを1000円で売る方法 コミック版』 永井孝尚・原作 阿部花次郎・作画 中経出版 2012
3. 『まんがでわかる伝え方が9割』 佐々木圭一・著 ダイヤモンド社 2017
4. 『マンガ これ、いったいどうやったら売れるんですか？』 永井孝尚・著 永川成基・まんが原作 汐田まくら・作画 SBクリエイティブ 2018
5. 『マンガ新人OL、つぶれかけの会社をまかされる』 佐藤義典・著 汐田まくら・マンガ青春出版社 2016

選者：小川雅魚さん（大学名誉教授、作家）

テーマ 読書と旅

◆子供時代、私はまったく本を読まなかった。教科書すら開くことがなかった。私が本を読むようになったのは、高校2年の夏休み、悪友数人の代わりに読書感想文を書いていて、妙な快感を覚えてからである。その直後、「異邦人」を読んで衝撃を受け、三島、大江、安部、石原、当時の花形作家の小説を読み始めた。翌年の夏、アポロ11号で人類が月に降り立った日、悪友二人とテントを担いで信州方面への旅に出た。その旅日記が秋になって、校内で回し読みされ、私は一躍人気作家になったのだった。

1. 『コンチキ号探検記』 トール・ハイエルダール・著 河出書房新社 1951 ★
2. 『チャーリーとの旅 スタインベック全集 16』 ジョン スタインベック・著 大阪教育図書 1998
3. 『森の旅人』 ジェーン グドール・著 フィリップ バーマン・著 角川書店 2000 ★
4. 『ハックルベリー・フィンの冒険』 マーク・トウェイン・作 岩波書店 2018
5. 『異邦人』 カミュ・著 新潮社 1996
6. 『日々の泡』 ボリス ヴィアン・著 新潮社 1998
7. 『オーパ！』 関高健・著 高橋昇・写真 集英社 2010

8. 『クジラと生きる』 小島曠太郎・著 江上幹幸・著 中央公論社 1999
9. 『吾輩は猫である』 夏目漱石・著 岩波書店 2002
10. 『星の王子さま』 アントワーヌ ド サンテグジュペリ・著 集英社 2005
11. 『フレデリック ちょっとかわったのねずみのはなし』 レオ＝レオニ・作 好学社 1987
12. 「椀久一世の物語」(『西鶴置土産 現代語訳・西鶴』より) 井原西鶴・著 小学館 1997
13. 『エリック・ホッファー自伝』 エリック ホッファー・著 作品社 2002
14. 『北回帰線』 ヘンリ ミラー・著 新潮社 2005
15. 『料理の起源』 中尾佐助・著 吉川弘文館 2012
16. 『銃・病原菌・鉄(上・下)』 ジャレド ダイアモンド・著 草思社 2000
17. 『田舎と都会』 レイモンド ウィリアムズ・著 晶文社 1985
18. 『ホロコーストの文学』 ローレンス ランガー・著 晶文社 1982
19. 『潮の騒ぐを聴け』 小川雅魚・著 風媒社 2014
20. 『金曜日の戦い』 小川雅魚・著 風媒社 2022

選者：渡会一仁さん（(株)渥美フーズ代表取締役）

テーマ エコガーデンシティ構想

◆2035年の渥美半島は、山や海の美味しいものが溢れるオーガニック半島になっていて、食や自然での遊びの達人や、エコサキュラーが集まっています。食やエネルギーを循環させ、エコツーリズムで長期滞在できる。地球にやさしいオアシスを目指します。

1. 『パーマカルチャー 農的暮らしの永久デザイン』 ビル モリソン・著 レニー ミア スレイ・著 農山漁村文化協会 1993
2. 『腸と森の「土」を育てる』 桐村里紗・著 光文社 2021
3. 『江戸に学ぶエコ生活術』 アズビー ブラウン・著 阪急コミュニケーションズ 2011
4. 『世界で最初に飢えるのは日本』 鈴木宣弘・著 講談社 2022
5. 『自然卵養鶏法』 中島正・著 農山漁村文化協会 2001 ★
6. 『わがや電力 12歳からとりかかる太陽光発電の入門書(やわらかめ)』 テンダー・著 ヨホホ研究所 2015



選者：是住久美子さん（田原市図書館館長）

テーマ かわいくておいしそうでノスタルジー

◆おはなしの中に出てくる美味しそうなもの、ショーウィンドウのクリームソーダや買ってもらえなかった高級アイスなど、こどもの頃にあこがれたり、今もノスタルジーを感じるものを集めてみました。共感していただける方がいると嬉しいです。

1. 『ぐりとぐら』 なかがわりえこ・さく やまわきゆりこ・え 福音館書店 1967
2. 『からすのパンやさん』 かこさとし・絵文 偕成社 1982
3. 『ヘンゼルとグレーテル』 グリム・原作 スーザン ジェファーズ・え ほるぷ出版 1983
4. 『あかずきん』 グリム・原作 堀内誠一・え 福音館書店 2020
5. 『小さなスプーンおばさん』 アルフ プリョイセン・著 学習研究社 1982
6. 『わかったさんのプリン』 寺村輝夫・著 あかね書房 1989
7. 『スパゲッティがたべたいよう』 角野栄子・著 ポプラ社 1979
8. 『おべんとうばこのうた』 さいとうしのぶ・構成、絵 ひさかたチャイルド 2013
9. 『昭和のお店屋さん』 藤川智子・著 ほるぷ出版 2018
10. 『純喫茶とあまいもの』 難波里奈・著 誠文堂新光社 2023
11. 『日本懐かしアイス大全』 アイスマン福留・著 辰巳出版 2015
12. 『日本ジュースクロニクル』 日本懐かし大全シリーズ編集部・編 辰巳出版 2023
13. 『日本お菓子クロニクル』 日本懐かし大全シリーズ編集部・編 辰巳出版 2023
14. 『日本ご当地パン大全』 辰巳出版 2022
15. 『日本ご当地おやつ大全』 日本懐かし大全シリーズ編集部・編 辰巳出版 2023

